

夢は留学の先にある 『キャリアサポートパッケージ』



**留学支援×人材支援とのコラボレーションで
これまで無かった「連携型」サポートを実現**

ここが違う！
新しい形の「留学」がはじまります
従来型の留学支援との違い
従来の留学支援は、「留学を成功させるサポート」のみで、帰国後の就職活動まで及ばないのが事実でした。その為に「留学は成功したが再就職浪人となるリスクもあり、留学を決められない不安となっていました。」
「キャリアサポートパッケージ」では、**留学経験を最大限に活かした就職支援から帰国後企業紹介までトータルでお世話します。**

「目的」を具体化させ、
「成果」を体現化させる専門家達のサポート
KALEIDO 留学サービスは、オーストラリア留学のスペシャリスト。あらゆるタイプの留学目的に合わせた留学プランを提案し希望のキャリア実現を目指します。

エストレリータは、人事のスペシャリスト。企業の人事担当者の視点から留学経験者を「魅力ある人材」と評価される人材育成を目指します。

特別価格のご提供
KALEIDO 留学サービスの留学手配ご利用者だけの「キャリアサポートパッケージ」販売価格
¥36,750(税込)
一般での販売価格 **¥52,500(税込)**

お申し込み、お問い合わせはお気軽に下記まで
KALEIDO 留学サービス
〒602-8046 京都市上京区油小路通下立売上る近衛町 160 LM103
Tel/Fax075-451-2331
E-mail: info@kaleidowiz.com

**「留学経験者」と言うのブランドを最大限に活かして
目指すキャリア実現へ繋げる特効薬**

「どうして海外留学経験者の就職活動が上手くないのか？」
留学する前から就職活動は始まっている
「遊んでたでのしょ？」
「現実逃避してたの??」
「留学経験者って権利意識だけは強いんだよね…」

「留学経験者」に向けての誤解を解消させるためのノウハウ、あなたが抱える「不安」を「自信」に、「自信」を「確信」へ昇華させ「企業が求める留学経験者」となれるよう渡航前・渡航中・帰国後の全てのフェーズで支援します。

**「留学成果がはっきりする」
人材育成を目指すサポート**

『エストレリータ』が提供するキャリアサポートは、就職決定で終わることなく、将来に渡ってあなたの「顧問キャリアカウンセラー」として支援をお約束します。



オーストラリアで**通訳留学**ならば KALEIDO 留学サービス

どうして手数料無料なの？

KALEIDO 留学サービスの留学生への**想い。**

留学を決めるのは、他の誰でもなく**あなた自身。**

勇気ある決断と行動力で留学への第一歩を歩んで頂くのをお手伝いするのが KALEIDO 留学サービスのサポートに向けての理念です。

「自分でする」から**手数料が無料。**
KALEIDO 留学サービスは「自分でする留学手配」のサポートを行い、不要な商品の押しつけや無用な勧誘を一切行いません。

「自分でする」経験で育まれる「主体性」「行動力」「決断力」そして「問題意識」が備わってこそ、「留学を成功」させる原動力であると信じています。

KALEIDO 留学サービスは、留学希望者の「主体性」を尊重し、留学に向けての「**良き相談相手**」として留学成功へ導くのを責務とします。
無駄な有料サポートを排し、シンプルで賢い留学をご提案します。「賢く選んで頂いた方」だからこそ、KALEIDO 留学サービスのサポートの価値を知って頂けると信じています。どうぞ安心してご利用下さい。

お問い合わせはこちら
[メール問い合わせ](#)



KALEIDO 留学サービスが選ばれる理由

■信頼

- ・オーストラリア政府 EATC 認定留学カウンセラー
日本では数少ない「**オーストラリア政府公認**」の留学カウンセラー資格を取得しています。オーストラリア留学のプロとして豊かな経験と知識であなたを留学成功へ導きます。
- ・NPO 留学協会認定海外留学アドバイザー
安心・安全・信頼の留学環境を目指し、適切でコンプライアンスに則った留学サービスを提供しています。

■実績

- ・生涯留学相談実績は 5000 名以上
あらゆるタイプの留学手配実績を過去 10 年で積み重ね、その数は今後も増え続けます。
- ・各種留学タイプ、目的に合わせた手配実績
語学留学から専門留学、大学/大学院留学まで幅広く対応しています。
- ・オーストラリア滞在歴 10 年の経験
現地を知るからこそ語れるアドバイスがあります。留学生活に必要なノウハウが蓄積されたカウンセリングを行います。
- ・各種ビザ取得経験
ワーキングホリデー、学生、ビジネス、そして永住権。それら全てのビザの取得を経験しています。

■充実の手数料**無料**サポート

- ・留学コンサルティング
納得できるまで学校選びのお手伝い。Eメール、電話、スカイプなどで随時応じています。
- ・各種学校申し込み手配
入学手続き及び、学校からの連絡事項のご案内を行います。
- ・海外留学保険手配
AIU 保険会社との委託業務にて安心できる留学生活をお約束します。
- ・携帯電話レンタル手配
生活必須アイテムがお得な価格で利用可能
- ・海外円送金(海外為替両替)手配
為替差益を利用してお得な送金をご紹介します
- ・現地サポートセンター利用(*条件付)
*携帯電話レンタル加入者向け付随サービス
(シドニー・メルボルン・ブリスベン・パース・ゴールドコースト・ケアンズにて対応)
- ・緊急時 24 時間日本語対応サポート(*条件付)
(病気・怪我・損害事故対応)
*AIU 海外留学保険加入者向け付随サービス

通訳留学を目指す人 それぞれの目的

通訳留学を目指す人のタイプを3種類に大別する事ができます。

1. 通訳になりたい人
2. 他のスキル+通訳
3. 英語学習の延長

1のように職種＝留学目的となる方だけではなく、通訳スキルを他のスキルと合致させてキャリアアップを目指す2のような方もいます。

看護師、秘書、貿易商(バイヤー)などが典型で、「通訳ができる看護師」「通訳ができる秘書」となってキャリアを高めるのが留学動機です。

また、「英語に興味はあるが、未だ具体的な職種を決めていない人」が通訳を目指す3のケースも多く、現役学生が学校卒業後に「通訳留学」を行う事もあります。

まずは「通訳資格」を得て、その資格を武器に就職活動を有利に活用させる目的で「通訳留学」を目指します。

「通訳ができます」と 言えると印象が違う！

「英語ができる」のは当たり前の中となりました。語学力だけが就職活動の切り札となっていたのも一昔前の話だと言えます。

今や就職活動の自己PRで「英語ができる」とアピールしても、その評価の程度には大きな隔たりがあります。

しかし「通訳ができる」と言う事ができればどうでしょう？

もしあなたが企業の人事担当者とならば、「英語ができる」と言う人と「通訳ができる」と言う人、どちらに魅力を感じ採用したいと思いませんか？



通訳コース卒業生 ピックアップ Advanced Diploma コース卒業 高瀬真由子さん

「通訳に憧れた」彼女の夢。
どこにでもいそうな彼女が「通訳」
として活躍するまで・・・

オーストラリアで通訳留学を終え、日本に帰国した真由子さんと久しぶりに再会しました。

彼女は大阪出身の27歳。今は貿易会社に就職し、外国人顧客が相手の通訳兼商談を任せられ、日々英語に関わる仕事に就いています。

初めて彼女と出会ったのは、オーストラリアでワーキングホリデーを過ごした後の進路を「通訳留学」へ定めようとしていた頃でした。

当時の彼女は「英語が好き」なだけの、何処にでもいそうな女の子。大学を卒業したけど社会人経験もなく、特に技術や資格を持っている訳でもない…。そんな彼女が英語を活かした仕事＝通訳を目指す挑戦へ踏み出しました。

「通訳を目指す」決断をした当時の彼女は、膨らむ夢と不安と狭間で押し潰されそうでしたが、前向きな気持ちだけは失わない芯の強さを持っていたのを記憶しています。

しかし、今の彼女には自信が溢れ、苦節を乗り越えた落ち着きまでも見せています。27歳と言う彼女の年輪に刻み込まれたオーストラリア留学経験が、彼女の自信と魅力に反映しているとも言えます。

彼女に「留学前は『隣のお姉さん』みたいに何処にでもいそうな女の子だったけど、今はバリバリのキャリアウーマンになったよね？」って言うてみたら、「あはは！！」と仰け反りながら笑う仕草に「通訳」になる目的を達成した余裕までも覗かせます。

そんな彼女にも留学中は大きな苦労と努力がありました。通訳に憧れても「通訳」の右も左もわからない彼女にとっては、全てが初めての連続。半年のDiplomaコースでは、「コミュニティ通訳」と言った生活レベルで必要な通訳技術を学びます。日常生活レベルで必要になる会話のやりとりに対応できる通訳技能の訓練を行い、同行通訳や、裁判所での通訳をする資格取得を目指します。



通訳留学中の仲間たちとの写真

留学中の彼女の回りには常に仲間がいました。「全員一緒にNAATIに合格しよう！」を合言葉に放課後は、毎日ひたすら専門用語等の暗記の積み重ね、仲間達とロールプレイを繰り返し、毎日遅くまで勉強をする日々が続いたそうです。同じ資格を目指す仲間同士、互いの弱点を指摘しあい、アドバイスを送りあう関係は、挫けそうになりがちな留学生活を支える原動力にもなったそうです。留学を終えても、世界中に飛び立った仲間たちとの交流は今でも続いています。留学中の良き思い出となり、また彼女の掛替えのない財産にもなっています。

努力の甲斐があり、半年後にはDiplomaコースを無事卒業し念願のNAATI準プロレベルを取得した真由子さん。でも彼女の挑戦はワンランク上のAdvanced Diploma「プロレベル」通訳を目指す事でした。

「ムリムリって思いながら毎日必死でした」と彼女は、プロレベルに挑戦した当時の事を振り返ります。プロレベルとは、会議通訳のように瞬時に大量でかつ重要案件を通訳できるレベルのこと。授業では、作文用紙1枚分の英語量を的確に訳さなければなりません。

「英語から日本語への通訳の場合は、そもそも英語で話していることが難しすぎて、わからないんです。リスニング力がついていけなくて・・・」

練習に練習を重ね、見事に卒業証書を手にした真由子さんは日本へ帰国を果たします。帰国後に試しに受験したTOEICは、なんと940点。留学前は630点だったのに比べると大きな飛躍。その後即就職が決まり、今は「好きな英語を武器」に楽々と仕事をこなしています。

文) KALEIDO 留学サービス
大西 輝彦



通訳を目指すまで The way to be interpreter

RMIT 大学

オーストラリアで通訳留学を目指す教育機関として代表的な学校が、メルボルンにあるRMIT大学です。

RMIT大学は市内にキャンパスを構えた総合教育機関で「世界の大学ランキング」にでも高い評価を得たオーストラリア国内でも屈指の教育機関です。

RMITが提供する通訳プログラムは、半年のDiploma(通訳)と1年のAdvanced Diploma(通訳翻訳)。そして2年のMaster(通訳翻訳)に別れています。

まず半年間のDiplomaで通訳としての基礎的な技能習得を行い、NAATI Para Professional取得を目指します。※Advanced Diplomaまでは、RMIT大学のTAFEプログラムに属します。

Diploma コースへの入学基準

- ・18歳以上(高卒資格以上)
- ・英語力(以下いずれかを満たす)
IELTS - 6.0+ (no band less than 5.5)
TOEFL - PBT = 550+ (TWE 4.0+)
TOEFL - CBT = 213+ (TWE 4.0+)
TOEFL - iBT = overall score 79, minimum 19 in all sections
- ・エントランス試験に合格
筆記試験(エッセイ作成)とインタビュー(面接)が行われ、英語&日本語表現能力やコミュニケーション能力が審査されます。

※英語力に心配のある方は、RMIT 付属語学学校で英語学習を行う事で「内部進学制度」を利用する事も可能です。

(リンク)[RMIT 大学付属語学学校](#)

講座内容

通訳者や翻訳者になるためのスキルを身につけるのを目的とした学習を行います。各産業での専門用語の学習(政治・経済・医療・福祉・教育・法律・文化など)や通訳者や翻訳者として働くにおいて必要な道徳や倫理、法律などを学びます。そして、クラスではNAATI有資格者の講師(日本人やオーストラリア人)によって、実践的な講義が行われます。

その他の詳細について

KALEIDO 留学サービスにお問い合わせください。
[お問い合わせ](#)

(リンク)[RMIT 大学の Diploma コース講義内容\(英文\)](#)

オーストラリア通訳・翻訳資格 NAATI 資格とは？

Q: NAATI 資格とは？

NAATI(National Accreditation Authority for Translators and Interpreters)とはオーストラリアでの通訳・翻訳資格認定機関です。

<http://www.naati.com.au/>

NAATI資格を得るには、専門学校や大学でのNAATI認定コースを受講し、卒業試験に合格しなければいけません。

NAATI認定資格は通訳・翻訳でそれぞれ4レベルに分かれており、通訳は日常会話レベルの通訳ができる「準プロレベル」(Para Professional)から、専門性の高い会話や発表の逐次通訳ができる「プロレベル」(Professional)、国際会議などで高度な逐次・同時通訳ができる「会議通訳」(Conference)、最上級通訳資格の「会議通訳・シニア」(Senior)などがあります。

翻訳は専門性の低い基本的な翻訳ができる「準プロレベル」、科学や商業などの分野で一般的な内容の文書の翻訳が可能な「プロレベル」、法律文書など専門性の高い文書の翻訳ができる「上級翻訳者」(Advanced)、豊富な翻訳・指導経験を持つ「上級翻訳者シニア」となります。

オーストラリアは多民族国家として、英語以外を母国語とする人が生活しています。また、観光や産業の中でも通訳・翻訳の需要が高く、通訳・翻訳分野の教育が充実しているのも特徴です。

日本では、まだ通訳と言う形での国家資格はありません。唯一国家資格に相当する通訳資格として日本政府観光局が「通訳案内士」を実施していますが、あくまで「観光ガイド」に関わる通訳資格でビジネスで活用する資格ではありません。その他にも通訳や翻訳に関わる民間資格はいくつかありますが、国家資格ではないのが実情です。

